

むすび

160号 2018年
初夏号

一般社団法人高知県労働者福祉協議会機関紙
高知市本町4丁目1-32 こうち勤労センター内
TEL 824-3583 FAX 875-4887
E-mail kochirf@shirt.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.roufuku.com>
発行責任者 折田 晃一



◎主な内容



- * 労福協第6回通常総会を開催 2P
- * 幡多地区労福協総会・幡多ライフサポートセンター総会開催 ... 3P
- * 西部労福協交流事業開催 4P
- * 全国研究集会を開催 5P
- * 高知県立城山高等学校にて「労働セミナー」開催 6P
- * 第44回労働安全衛生学校を開催 7P
- * 労災相談・NPO法人高知県労働安全衛生センター 7P
- * 四国労働金庫第18回通常総会報告 8P
- * 高知県労働者共済生活協同組合「創立60周年レセプション」開催 ... 9P
- * 高知県生協連第60回通常総会報告 10P
- * 高知県健康政策部健康長寿政策課（高知家健康パスポート）... 11P
- * 高知県労働委員会（労働相談） 12P
- * クンペル高知（会員募集中） 13P
- * 安心して働くために・・・（連合高知） 14P

労福協第6回(通算39回)通常総会を開催

5月31日、こうち勤労センター7階で開催

2018年5月31日、こうち勤労センター7階の四国ろうきん研修室を会場に、11の会員団体から11名の代議員と8名の理事・監事が出席、会員団体よりオブザーバー5名、及び各地区労福協の代表が傍聴の下第6回通常総会が開催されました。



総会は間嶋祐一副会長の司会で、総会が定款に基づき成立しているとの報告があり、議長の選任に入り岡林寛仁代議員（高知県退職者連合）を選出しました。

折田晃一会長の開会挨拶、高知県の溝淵泰正雇用労働政策課長、高知市の森田洋介商工観光部副部長より来賓挨拶を受け議案審議に入りました。

第1号議案 2017年度活動報告、2号議案 2017年度会計報告が井上寿夫事務局局長より、会計監査報告が斎藤泰弘監事よりあり、満場一致で承認されました。

続いて第3号議案 2018年度活動計画案、4号議案 2018年度予算案、5号議案 規程制定について井上寿夫事務局局長より提案され共に満場一致で承認されました。

第6号議案 役員改選が折田晃一会長より提案され満場一致で承認されました。岡林寛仁議長が新任を承認された役員に就任の意思確認を行い、就任の同意がありました。最後に議長より大会スローガンが読み上げられ満場の拍手で採択し、総会は午後3時00分に全議案の審議終了し閉会しました。



高知県労働者福祉協議会役員

会長 折田 晃 一
(連合高知)

理事 池澤 研 吉
(連合高知)

理事 斎藤 泰 弘
(UAゼンセン高知県支部)

理事 浜田 嘉 彦
(高知県労働安全衛生センター)

監事 谷田 憲 一
(連合高知)

副会長 間嶋 祐 一
(四国労働金庫)

理事 石川 俊 二
(高知県勤労者旅行会)

理事 須内 宗 一
(高知勤労者福祉サービスセンター)

理事 松岡 和 男
(高知県労協協理会)

監事 中野 勇 人
(高知県平和運動センター)

副会長 山崎 秀 一
(全労済高知推進本部)

理事 國 弘 昭
(高知県退職者連合)

理事 橋川 慶 一
(高知県生活協同組合連合会)

監事 山本 弘 三
(年金福祉広域協会高知支部)

第6回通常総会

《メインスローガン》

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!!

《サブスローガン》

労働者自主福祉運動の推進で、地域に共助の輪を広げよう!
教育費負担を軽減し、だれもが安心して学べる社会を実現しよう!
貧困や排除のない社会をめざして、生活・就労支援を強化しよう!

2018年度「幡多地区労福協」 「幡多ライフサポートセンター」総会開催

＜6月2日（土）14：00～＞ 場所：四万十市社会福祉センター

2018年度の幡多地区労福協と幡多ライフサポートセンター合同の総会が、12名の現職の皆さんを含め、62名の参加により四万十市社会福祉センターで行われました。



総会に先立ち、14：00から約1時間の講演を行い、15：00から幡多地区労

福協総会・幡多ライフサポートセンター総会と約3時間を要し、参加者には少し長丁場の会となりました。

幡多ライフサポートセンターが高知県労福協内の組織であるため、予算を持っておらず、幡多地区労福協と幡多ライフサポートセンターは役員も重複しており、共同での事業推進も多くあることなどの説明と共に、両総会の議案については、2017年度の活動報告・決算、2018年度の活動方針・予算など、原案のとおり満場一致で承認されました。

＜総会での講演内容＞

演 題：「土佐一条家のこぼれ話」

講 師：＜楠本正躬＞



楠本さんは、「吉良川文張」というペンネームを持つ郷土史愛好家で、本も発行されている方で以下のような内容でした。



歴史の真実は往々にして権力者によって隠されるものである。これは識字率の高い「支配する側の者」から書かれたものが多いからであり、本質を知るためには「被害者側」から書かれた資料を参考にすると見えてくる。

1574年に長曾我部元親が土佐を統一するまでは、一条兼定（中村御所当主）や本山茂辰（本山城主）、安芸国虎（安芸城主）など幡多郡78城、高岡郡57城など各地に334もの城が存在したとされている。

一条兼定は、1573年に長曾我部元親の策謀により家臣たちに追放され、家督を子供の内政に譲った。そして、1575年に再起をかけて渡川合戦を仕掛けたが敗れ滅亡した。

これらについては、^{ぎょうしゅう}峯州書状（^{ただもと}一条内基から元親への手紙）や^{かねとし}兼俊書状（渡川合戦の戦況を境地の一条内基に3回報告）などから推察できる。

など、かなりディープな内容で、おぼろげに知っている名前が1～2名とチョッと難解な講演となりました。

幡多地区労福協

会長 今 倉 傳 男

西部労福協交流事業開催される!!

明治維新150年「志国高知 幕末維新博」～時代は土佐の山間より～

西部労福協交流事業が5月11日（金）～12日（土）に西部ブロック9県から49名（高知7名）の参加で開催されました。

一日目は、龍馬の生まれたまち記念館を見学、「まっことよう来たねえ、ゆっくり見とうせ」のお出迎え、龍馬の声が聞こえる・・・を楽しみました。その後、観光ボランティアの案内で徒歩にて史跡巡り、高知城歴史博物館では「明治元年の日本と土佐～戊辰戦争 それぞれの信義」、日本そして土佐にとって「明治維新」とはなんだったのか、「明治元年」とはいかなる年であったのか、維新の歴史を体感しました。



二日目は、桂浜の坂本龍馬像を見学、龍馬の目線にて太平洋を眼下に、世界に思いを馳せました。続いて、本年4月21日新館オープンの坂本龍馬記念館へ、「土佐に遺された龍馬の『志』—国家之御為日夜尽力羅在候—」展、

脱藩により故郷の土佐を捨てたように思われる

ことも多い龍馬ですが、実は誰よりも故郷

を思う気持ちは強かったといわれています。龍馬の手紙には、家族や土佐の人に送ったものが多くあり、龍馬の故郷への思いを感じました。最後は、土佐料理「カツオのたたき」を自分でわら焼き体験、自分で焼いた「カツオのたたき」を堪能、参加者から好評でした。参加者から「また来たい」との声もあり、地元高知としては大変うれしく思いました。



《みんなあが来るがを待ちゆうきね!》

「貧困や社会的孤立に陥らない地域をつくろう」をテーマに



2018 年度全国研究集会を開催

2018年6月4日(月)～5日(火)、岡山市「ホテルグランヴィア岡山」で、全国47都道府県の地方労福協、事業団体、労働団体334名の参加で高知県労福協より6名が参加しました。

開催にあたって、中央労福協神津里季生会長、開催地の伊原木隆太岡山県知事、大森雅夫岡山市長、岡山県労福協の金澤稔会長、の挨拶があり講演に入りました。

講演Ⅰ「生活困窮者自立支援制度の意義と制度の見直し・地域共生社会の実現に向けて」



厚生労働省 社会・援護局 生活困窮者自立支援室 本後健氏

本後講師は、断らない支援を実践していくことが生活困窮者の存在を「見える化」することになる。そして、支え手と受け手という関係を越えて、地域のあらゆる住民が我がこととして参画し、地域のコミュニティを醸成することが必要であると話された。

講演Ⅱ「若者支援活動の“これまで”と“これから”」

特定非営利法人NPOスチューデント・サポートフェイス

代表理事 谷口仁史氏

谷口講師は、アウトリーチ(訪問支援)と重層的な支援ネットワークを活用することで総合的な支援体制を確立し、すべての子ども・若者が「安心」と「希望」を抱ける地域をつくることが重要であると力説された。



《サブテーマ：支え合い・助け合いのネットワークを広げよう！》

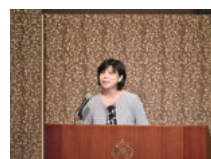
■事例報告①「コープおかやまの取り組み」

(株)コープファームおかやま 専務理事 眞木貴正氏



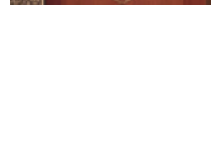
■事例報告②「“ともに”はたらき仕事を起こす」

ワーカーズコープ中四国事業本部 事務局長 牛草賢二氏



■事例報告③「若者の学びと成長を支える～奨学金ネットワークの構築」

北海道奨学金ネットワーク 事務局長 鈴木隆司氏



■事例報告④

「沖縄県 ろうきん・全労済 働く仲間のゆめ・みらい基金について」

沖縄県労福協 事務局長 岡野みゆき氏

■事例報告⑤「子どもの貧困対策への取り組み」

徳島県労福協 専務理事 林善章氏

パネルディスカッション



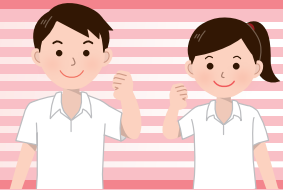
パネラー 眞木 貴正氏：コープファームおかやま
牛草 賢二氏：ワーカーズコープ中四国事業本部
小関顕太郎氏：北海道労福協
岡野みゆき氏：沖縄県労福協
林 善章氏：徳島県労福協
コーディネーター

花井圭子中央労福協事務局長



今後も、助け合い、支え合う共助の取り組みや生活困窮者への生活・就労支援等を、全国に広げていくことの大切さを学んだ研究集会となった。

高知県立城山高等学校にて 「労働セミナー」開催!!



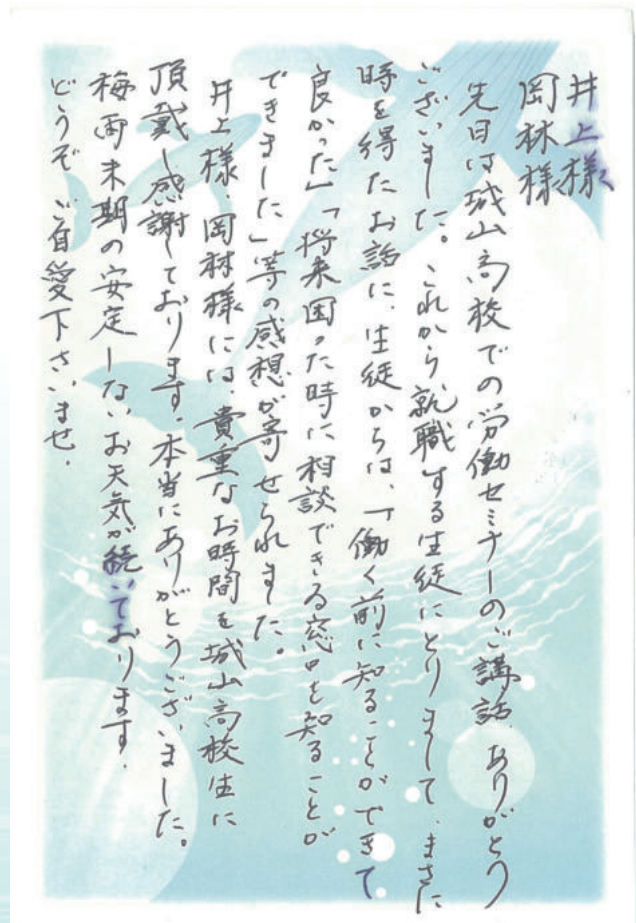
2018年6月27日(水)、高知県立城山高等学校にて、参加者42名で「労働セミナー」を開催しました。

講師は岡林ゆり氏(連合高知副事務局長)で50分講義、高知県労福協作成の『働くときに知っちょきたいこと』をテキストに「社会人としてのマナー」「労働契約」「就業規則」「労働時間」「休日」「賃金」「各種保険」・・・etc、解りやすく説明し、好評を得ました。



後日、高知

県立城山高等学校須藤千恵先生より下記のお礼状をいただき、生徒さんから「働く前に知ることが出来て良かった」「将来困った時に相談できる窓口を知ることが出来ました」と感想もいただきました。



「働くときに知っちょきたいこと」

働く人のためのハンドブック冊子、労働セミナー開催ご希望の場合は、高知県労福協までご連絡ください。

(時間・内容の詳細は応相談)

☎ 088-824-3583

第44回労働安全衛生学校を開催「働き方改革」について学習

大野義文氏(元、労働基準監督官・労働基準監督署署長)が
「隠された意図・その背景に在る本来の狙い」
「どうなる労働者のいのちと健康」を主題に講演



5月26日(土)、高知共済会館で恒例の第44回労働安全衛生学校(NPO法人高知県労働安全衛生センター・連合高知・一般社団法人高知県労働者福祉協議会の共催)が開催され、労働団体・労働者自主福祉事業団体などから70名が参加しました。

主催者を代表して折田晃一氏が「今、私たちの働きやすい環境をいかに構築していくか大きな課題を抱えているときに、政府は『働き方改革』と称して労働関連法の改正を一括提案している。その法律が今後の労働者の命と健康をまもり働き続けて行くことができるか、今日の学習を通じてしっかり学んでほしい」と挨拶がありました。

講師の大野氏は、特に残業代ゼロ法案とも言われている「高度プロフェッショナル制度」の問題点を指摘、年収1,075万円以上の労働者を対象にしているが、この上限規制を下げられることは「労働者派遣法」の拡大適用で明らかであり、残業の100時間未満規制は「過労死認定基準100時間」と1秒の違いである。「過労死家族会」が同じ過労死労働者がでないようにと猛烈に反対し訴えたがこれらを無視して強行されようとしている。

講師のこれまでの体験の新聞記事の事例を示し提起し、「今回の法律は『働かされ改革』で『働き方改革』と聞こえは良いが労働者のためのものではなく、経営側の儲け第一主義の発想そのものであることを見逃してはならない」を話され、終わりに「知識を吸収しなければ知恵は出せない。知恵が出せなければ闘いにならない」と結びました。

講師のこれまでの体験の新聞記事の事例を示し提起し、「今回の法律は『働かされ改革』で『働き方改革』と聞こえは良いが労働者のためのものではなく、経営側の儲け第一主義の発想そのものであることを見逃してはならない」を話され、終わりに「知識を吸収しなければ知恵は出せない。知恵が出せなければ闘いにならない」と結びました。

＜牧村光彰＞

困ったり悩んだりしていませんか？

仕事中のケガや病気のことでお困りの方は、
お気軽にご相談ください。



0120-631-202

受付時間：月～金（9時～15時）

NPO法人 高知県労働安全衛生センター

相談
無料



四国労働金庫 第18回通常総会報告



四国労働金庫（高松市：理事長 小川 俊）は、6月25日に高松市において第18回通常総会を開催し、2017年度（年1回3月決算）の事業報告、第7期中期経営計画および2018年度事業計画、役員（理事）の補欠選任を含めた5議案が承認されました。

第6期中期経営計画の最終年度である2017年度は、重点課題として、①経営戦略、②財務戦略、③CRM戦略、④営業戦略、⑤IT戦略、⑥コンプライアンス・リスク管理戦略、⑦人事戦略の7項目を掲げ、みらい創造革新に向けた取り組みを進めてまいりました。

第7期中期経営計画をスタートする2018年度は、基本方針として、『大改革の完遂と改革効果の最大享受』と『理念経営の実現と金融包摂によるろうきんの役割発揮宣言！』を掲げ、第6期計画で実行した改革政策の総仕上げに向けて、Ⅰ．経営戦略、Ⅱ．財務戦略、Ⅲ．営業戦略、Ⅳ．IT戦略、Ⅴ．コンプライアンス・リスク管理戦略、Ⅵ．人事戦略の6項目を重点課題として取り組みます。

厳しい金融環境の中、第6期中期経営計画の改革方針を引き継ぎ、オール四国の全体最適化を強力に推し進め、四国労金グループ全体で経営資源を最効率・再配分し事業存続する計画の下、理念経営の実現と金融包摂を「高付加価値・お役立ち・提案営業」により実現し、ろうきんブランド力を向上します。

2017年度の「ろうきん運動」において、顕著な業績をあげられた39会員の表彰と、永年にわたり会員推進機構に功績のありました22名の方の表彰を行い、小川理事長より表彰状と記念品を贈呈いたしました。

今後とも、理事・監事の相互牽制機能の強化や業務執行体制の充実を図り、会員・お客様の負託に応え得る経営管理態勢の構築と経営改革に取り組みます。



2017年度「協力団体代表者・共済推進担当者会議」 高知県労働者共済生活協同組合「創立60周年記念レセプション」開催の報告



「協力団体代表者・共済推進担当者会議」会場全体の様子

2018年5月28日(月) 14:00 から、高知市のホテル日航高知旭ロイヤルにおいて、「2017年度協力団体代表者・共済推進担当者会議」を開催し、下記の議題についてご提案させていただきました。

議題

- (1) New-Zetwork <2018年度～2021年度中期経営政策> (組合員討議案)
- (2) 高知推進本部 2017年度事業活動報告 (案)
- (3) 高知推進本部 2018年度事業活動計画 (案)
- (4) 高知県労働者共済生活共同組合第64回通常総代会にむけて

また、同日 17:30 からは、高知県労働者共済生活協同組合の創立60周年記念レセプションを開催しました。ご来賓や全労済運動・事業を支えてきた歴代の役員、協力団体の代表者、担当者など多くの方にご出席いただきました。

多くの方のご協力のもと創立60周年をむかえることができました。これからも、豊かで安心できる未来に向け共済事業を行って参ります。



「創立60周年記念レセプション」での山崎本部長挨拶の様子

組み合わせてますます安心 全労済の



おかげさまで全労済は
60周年を迎えました

マイカー共済

自動車総合補償共済

基本補償

ご自身の補償
(人身傷害補償)
最高5,000万円
(自動車事故傷害見舞金付き)

相手方への賠償
(対人賠償) (対物賠償)
無制限 無制限
(対物超過修理費用補償付き)

故障のときも
安心!

(24時間×365日)マイカー共済ロードサービス付き

お車の補償(車両損害補償)

一般補償

付随諸費用補償

特約・割引

運転者本人・配偶者限定特約

ハイブリッド車割引

自賠責共済

自動車損害賠償責任共済

ご相談
ください。

自賠責共済(保険)とは、自賠法(自賠責保険についての法律)によって、道路を走るすべての自動車(二輪車を含む)・原付自転車を使用する際に、**加入が義務づけられている共済(保険)です。**

●お支払いできる事故

ご契約車両を運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたことにより賠償責任を負った場合に共済金を支払います。



●お支払いの内容

死亡	最高 3,000万円
けが	最高 120万円
後遺障がい	程度に応じて4,000万円*~75万円

※神経系統・精神・胸腹部臓器に著しい障害を残して介護が必要な場合
常時介護:4,000万円(第1級)、
臨時介護:3,000万円(第2級)
・上記以外の後遺障がい
3,000万円(第1級)~75万円(第14級)

マイカー共済・自賠責共済 あわせてのご加入をおすすめします。

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

高知県生協連第60回通常総会報告

高知県生協連第60回通常総会を6月27日（水）に高知会館で開催しました。

井垣会長の挨拶のあと、西岡専務理事から2017年度に高知県生協連の災害対策委員会の活動を引き継ぎ、地域の生協どうしが協力し、行政や地域の組織と一緒に行った「コープぼうさい塾」や高知県初開催の「2018 中四国ブロック消費者フォーラム」、高知県の窓口である経営支援課との災害物資協定についての懇談会、など、会員生協の連携や行政や他団体との協力、地域住民のニーズなどに対応した多くの取り組みの報告に続き、新年度に会員間の連携を強め、ともに平和な社会づくりに参加していく為の諸課題について提案されました。



すべての議題は満場一致で可決決定され、無事に総会を終了しました。

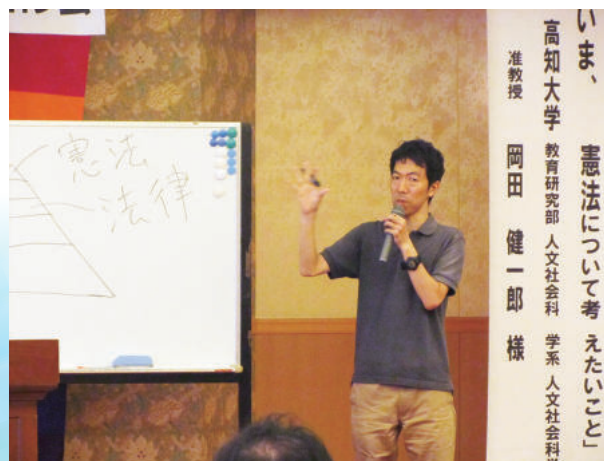
2018年度、高知県生協連の役員体制は以下の通りです。



- 代表理事会長 西山 武（高知県学校生活協同組合）
- 副会長 今井 好一（高知県医療生活協同組合）
- 専務理事 西岡 雅行（こうち生活協同組合）
- 常務理事 橋川 慶一（高知県庁消費生活協同組合）
- 常務理事 浜崎 敬三（高知大学生生活協同組合）

また、総会終了後には役職員研修会が開催され、高知大学准教授の岡田 健一郎氏の「いま、憲法について考えたいこと」と題して、今後国会での論議や国民投票も予想される憲法問題の問題点や論点についてわかりやすく話をして頂きました。

講演後の質疑応答の中でも熱心な質問が行われ、改めて憲法問題についての関心の高さが伺われました。





健康パスポートを活用して職場の健康づくりに取り組もう！

働きざかり世代の男性の死亡率が全国と比較して高い高知県では、日々の生活の中で健康的な生活が習慣化する仕組みとして、平成28年9月から『高知家健康パスポート』をスタートしました。

働きざかり世代が、1日の多くの時間を過ごす職場でも、健康に関する意識を高めることが大切です。健康パスポートは、職員のみなさんの健康づくりのツールとして活用することができます。

大好評！

高知県民
27,000人

以上が利用しています



『健康経営』で、従業員も企業も元気に！

企業環境の変化で…
・労働人口の減少
・企業の社会的責任

生活習慣病
メンタルヘルス

従業員の心身の健康が損なわれると

生産活動が低下し
企業経営に悪影響



『健康経営』で組織の活性化

従業員の活力の向上
生産性の維持、向上
企業イメージの向上
労災発生の予防、事故防止
医療費(会社負担分)の削減

従業員への健康投資が
企業の業績向上につながる

職場の健康づくりに健康パスポートを活用できます！

事前に申請をすることで、職場の研修会やスポーツ大会でもポイントを取得できます

職場の定期健診	+	職場の健康づくり研修など	または	職場のスポーツ大会など
---------	---	--------------	-----	-------------

まずはカンタンに1枚GET！

ヘルシー・高知家・Pラーニング

読んで・理解して・学習のまとめを行うことで、ヘルシーポイントシール（緑1枚）を取得できます！職場の健康づくりにご活用ください。

こんな職場にオススメ！

- ・『健康づくり』を何からはじめて良いかわからない
- ・勤務時間や形態が各々ちがっていて集まる時間がとれない



※HPからダウンロードできます

従業員の申請をまとめて健康パスポートを申請

みんなでパスポートを取得しよう！



健康パスポートを取得するとおトクがいっぱい！

- ①参加施設で料金割引やプレゼントなどのおトクなサービスが受けられます！
- ②健康にいいことを実践してシールを集めると豪華賞品が当たります！
- ③特典が受けられる市町村の健康づくり事業に参加できます！
- ④シールを集めるとパスポートがランクアップ！
参加施設のサービスがますますおトクになります！
- ⑤パスポートランクアップ者限定のプレゼント抽選があります！

このステッカーやポスターが目印！

- 選べる自転車1台引換券 2万円
- PE-CIT認定 1万円
- ウェアススポーツウェア 7万円
- スポーツ用品総額優待券 (0.050円×10名×1万円) 5万円
- カーミン Pro-Athlete 233 5万円
- 当り 無料券 割引券

平成30年9月、健康マイスターおよびスマートフォンアプリがスタートします！

高知家健康マイスター

パスポートの最上位ランクとなる「健康マイスター」。健康づくりの取り組みを称えて表彰状を贈呈するほか、マイスターだけの特典も！



スマートフォンアプリ

日々の歩数や血圧の測定記録でヘルシーポイントが貯まり、シールへの交換やプレゼントキャンペーンへの応募ができます。



<お問い合わせ先>

高知県健康政策部健康長寿政策課
〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2-20 県庁本庁舎4F
TEL.088-823-9675

高知家健康パスポートに関する情報はこちらから
公式サイト <http://www.health-pass.pref.kochi.lg.jp/>

高知家健康パスポート 検索





高知県は、ひとつの大家族やき。

困っちゃうことは、何でもいっぺん相談してみいや!



職場のお悩み
ご相談ください!!

相談無料・秘密厳守

©eriko takezaki

ほいたら、
みんなあで、

いっしょに
考えるきねえ!

使用者相談例

配置転換・出向の拒否、
労働条件の円満な話し合い

労働者相談例

パワハラ、賃金未払い、
賃下げ、サービス残業、解雇

相談受付 8:30~17:15 月~金
(祝日・年末年始を除く)

お電話で
088-821-4645

PC・スマホ・携帯の方はメール送信フォームからでも
www.pref.kochi.lg.jp/form/240101/mailform.html



高知県労働委員会

〒780-0850
高知市丸ノ内 2-4-1
県庁北庁舎 4F



URL : www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/240101/

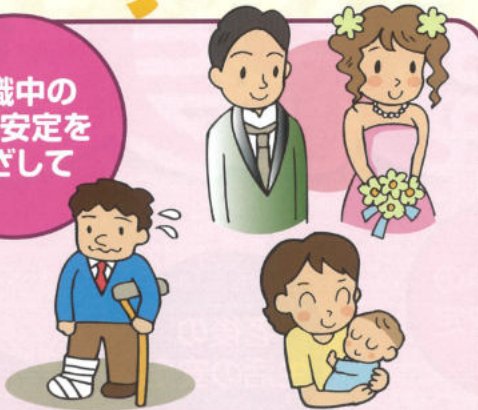
高知県労働委員会



あなたの生活、 応援します。



1 在職中の生活安定をめざして



各種共済金の給付は、会員本人の結婚や出産、またお子さんの小中学校へのご入学の際や、会員本人の成人や還暦の祝い金、傷病や住宅災害の見舞金、家族や本人の死亡に対する死亡弔慰金などがあります。

2 自己啓発と余暇活動の充実のために



コンサートや観劇の他夏季大学の受講、映画や食事のチケットなどの割引や助成を受けられます。

3 健康の維持増進を図るために



生活習慣病予防検診や人間ドックの受診助成、また健康啓発講座などの受講やトレーニング施設、プールなどの利用の際にも助成を受けられます。

4 老後の生活安定をめざして



中小企業退職金共済制度の新規受付を行なっています。

5 財産形成のために



居住用住宅資金の貸し付け制度が低利で利用できます。

毎日イキイキ！
会員募集
もっと豊かに！

お気軽にお問合せ下さい **KUMPEL**
クンペル高知
公益財団法人
高知勤労者福祉サービスセンター
〒780-0802 高知市丸池町1番1-14号 高知市勤労者交流館1階
TEL 088-885-9739
FAX 088-880-0027

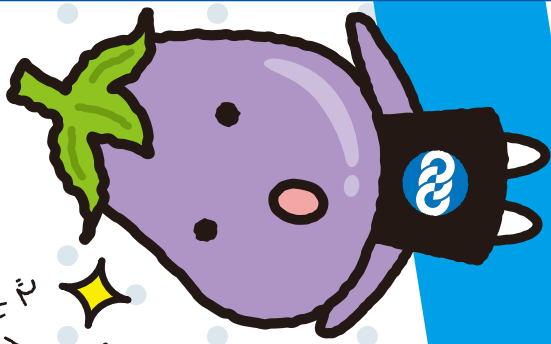


安心して働くために...

つくろおう!

労働組合!

らんごう
けんごう
しんごう!



ひとりで悩んでいませんか?

労働組合は
誰でもはいれます。誰でもつくれます。

まずは連合にご相談を!

フリーダイヤル
0120-154-052

れんごうに
連合が組合づくりを
お手伝いします!

クラシノ
ソコアゲ
応援団!

RENGOキャンペーン
一人ひとりが主役です。



連合高知